

下仁田高等学校 学校評価一覧表② (令和4年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が70%以上である。	B	B	B	コースの特徴をもとにICT機器を効果的に活用し、言語活動や対話を重視したわかりやすい授業を継続的に行い、生徒が主体性をもって学習に取り組めるように努めた。	肯定的に考えている生徒が増えてきており良い傾向にあると思われるが、学校が好きだと思えるようさらなる取り組みを要望する。	今後も言語活動の充実を図るとともに、わかりやすい授業の実践や生徒の実態にあった教育活動を行っていく。さらに自校に愛着や誇りを持てる教育活動をこれからも検討していく。
		② 習熟度別や少人数制の授業形態に満足している生徒が70%以上である。	A	A	A	基本的な学習事項の習得、定着に向けて、1年次は、国語・数学・英語において習熟度別指導、2・3年次は、コース別の少人数指導を実践し、基礎学力の向上及び専門性を高めた。	きめ細かく丁寧な指導に生徒も満足していて良好であると思われる。中学生が学校説明会に参加した際も少人数指導に好印象を持っている。入学後も同様に感じていることはとても良い。	習熟度別や少人数制の指導をこれからも粘り強く推進していく。落ち着いた学習環境を維持し、生徒たちの学力を向上させるためにさらなる授業改善に努める。
	2 地域と連携し、地域の教育力を活用していますか。	③ 「総合的な探究の時間」や学年行事等に、意欲的に取り組んだ生徒が70%以上である。	A	A	A	地域学習や行事については内容の見直しや改善を行い、昨年と同様に良い成果を挙げることができた。生徒の取組状況は各学年ともに意欲的であった。	地域学習の研究の成果が発表会にも繋がっており、良好な取り組みだと思われる。	地域学習や行事の内容について工夫や改善をさらに進め、生徒がより積極的な姿勢で取り組めるよう事前・事後指導に努力する。
		④ 「ぐんまコミュニティー・ハイスクール事業」等の地域と連携した事業や諸活動に意欲的に参加した生徒が70%以上である。	B	A	A	コロナ禍で活動内容の制限はあったが、地域との連携を模索しながら活動の範囲を広げることができた。	町の商工会議所とビジネスコースとのコラボ授業は素晴らしい。他のコースの取り組んでいる様子も伺いたい。	地元と連携した取り組みが8年目を向かえ、地域に役立つ人材育成という意味で各コースの特徴を活かし活動している。継続して取り組んでいく。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤ 「学び直し学習」や「学び合い学習」を取り入れた授業がわかりやすいと考えている生徒が、70%以上である。	A	A	A	コロナ禍ではあるが、できる範囲で場面を設定し、習熟度別指導や少人数指導、言語活動の充実が図れるよう対応した。また、個々の生徒の学習状況に応じた個別の支援を行い、学習意欲の向上を図った。	授業をはじめ、日常において個別対応がしっかりできており、良好であると思われる。	多様な生徒に対応するため、授業の全体指導の中に、一人一人の到達度に応じた「みとり」を取り入れながら実践している。観点別評価を活かしながら教師間で情報を共有することで学習意欲を向上させる。
		⑥ 多様な進路に対応した学習が役立っていると評価している生徒が70%以上である。	A	A	A	コースの特色を生かした授業を工夫するとともに、個別の面接や小論文の指導など、進路に応じた対応を丁寧に実践した。	昨年よりもさらに評価が高くなっており成果が良い結果として出ている。資格取得やコース全体での体制整備、生徒への柔軟な対応が良い評価になっている。	将来に向け、学力を身につけることの必要性を引き続き生徒に伝えていく。PTA活動や三者面談を通して保護者の理解や協力を促していく。
	4 生徒は確かな学力を身につけていますか。	⑦ 授業に真面目に取り組んでいると自己評価している生徒が70%以上である。	A	A	A	生徒は確かな学力を身につける前提として全教職員が共通理解のもと、授業規律の確保に努力している。生徒の授業態度は概ね良好である。	生徒の評価も高く良好である。今後も引き続き取り組んで欲しい。	授業での分離令の徹底や授業中のマナー違反を許さない体制を継続していく。今後も授業規律の確保に努力する。
		⑧ 学力の定着を図る指導を充実させ、学力が向上したと自己評価している生徒が70%以上である。	A	A	A	一斉授業では補えない学習の遅れや定期考査に対応するため、学年・教科で協力して放課後等の個別指導に取り組み、成果に現れている。	少人数指導の良さを活かし、個々の生徒に対して必要な支援を行い、とても良好である。	引き続き生徒各自に応じた指導を心掛け、その際、カウンセラーや専門アドバイザーからの助言を参考にしながら手立てを取り入れるなど、指導方法を工夫する。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑨ 年3回以上の面談指導を行い、面談が役立ったと感じている生徒が70%以上である。	B	B	B	面談週間を含め、学校生活全般において声かけを実践し、不安を抱える生徒への対応に努めた。全職員で情報の共有化を図るとともに、スクールカウンセラーや外部機関と連携し対応している。	相談、支援体制が整っていて良好ではあるものの、日常生活においても相談する機会がさらにあることを要望する。	普段の生徒の変化を捉え、面談週間に限らず全職員による学校生活全ての場面での声かけの継続を行っていく。またスクールカウンセラーや外部機関との連携を密にし、生徒理解を深める研修なども実施していく。
		⑩ 部活動に加入し、継続的に活動している生徒が50%以上である。	B	B	B	設置する部活の精選、活動内容の改善について取り組んでいる。活動が制限された中でも生徒の充実感が得られる部活動づくりに励んだ。	設置する部活動、活動内容の見直しが必要と思われる。新型コロナウイルス感染症対策のために活動が制限されることもあるが、生徒が充実した学校生活を送れるように検討して欲しい。	安全な活動環境で生徒の活動意欲が向上できる部活動等の設置については引き続き検討する。設置してある部活動が生徒にとって充実した活動になるよう指導方法などを検討していく。
		⑪ 情報モラルや交通安全、健康に関する講話等が役立ったと評価する生徒が70%以上である。	A	A	A	関係機関に講師を依頼し、具体例を盛り込んだ講演会や体験的な学習活動を取り入れて実践した。	情報モラル教育は、重要な取り組みであり継続して取り組んで欲しい。小中学校においても課題となっており、高校においても連携して指導に当たっていくことが大事である。	今後も関係機関と連絡を取りあい、情報モラル・交通安全・健康面に関し、より一層適切な対応が取れるよう体験的な学習活動を取り入れて身に付けさせたい。

Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫ 欠席率5%以下、遅刻率は3%以下である。	A	A	A	生徒への粘り強い指導や保護者への連絡を密に行った。外部機関とも連携を図り対応した。	落ち着いた学校生活が送れていることが感じられ、概ね良好である。	遅刻指導は継続して実施していく。長期欠席する生徒には保護者との連携を密にしていくとともに、外部機関との相談体制を強化することで早期の対応を図っていく。
		⑬ 本校で定めた服装・頭髪に関するルールを遵守していると考えている生徒が70%以上である。	A	A	A	多くの生徒がルールを遵守した学校生活を送っている。進路との関連を強く意識づけ、生徒の規範意識をさらに向上できるように取り組んでいく。	生徒一人一人にルールを守っていこうとする姿勢が伺えてとても良いと思う。今後も指導を継続して欲しい。	授業規律の徹底、日頃の声かけなどを根気強く行う。進路指導を見据え、それに関連づけた生徒指導を行うことで規範意識向上に努める。
	7 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	⑭ 学校はいじめの防止と早期発見を積極的に行っていると感じている生徒が85%以上である。	B	B	B	いじめが疑われる事案は速やかにいじめ対策委員会に報告され、組織的に対応できた。生徒会による年間を通じた「あいさつ運動」を実践し、学校全体で「いじめ撲滅」に取り組むメッセージを日々伝えることができた。	生徒・保護者にとって最も神経質になるところであるため、厳しい評価になると思うが、引き続きアンテナを高くしながら自信を持って取り組んでいくことを願う。	いじめ防止に関する機会を増やすとともに、生徒の多様性を認めていく場面を通して、いじめに繋がらないように心を育てていく。またアンケートや面談等による情報収集のさらなる徹底、綿密な職員間の情報共有を行い、学校全体で早期発見、早期解決に引き続き努めていく。
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	⑮ 進路ファイル(含キャリアパスポート)に前向きに取り組んでいる生徒が70%以上である。	A	A	A	『進路ファイル(キャリアパスポート)』をもとに計画的な進路指導を行うことができた。生徒たちは、しっかりと意識して取り組んでいた。	『進路ファイル(キャリアパスポート)』を活用しながらきめ細かな進路指導をしていることが伺える。引き続き充実した指導を期待している。	『進路ファイル(キャリアパスポート)』の活用により。学期における目標・活動・ふりかえりを継続していく。
		⑯ 進路関連行事に意欲的に取り組んでいる生徒が70%以上である。	A	A	A	進路に関連する行事を計画し実践することで進路への意識を高めた。また『進路ファイル』を活用することで進路行事の記録を保管し、次年度への指導につなげた。	進路に関する行事が豊富に計画・実践され、進路指導、それを裏打ちする学習指導には高い評価を感じている。	今度も進路に関する行事を取り入れることで進路への意識を向上させていく。また『進路ファイル』に取り組む時間を確保することでより充実した進路指導を目指す。
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰ 「将来の職業」や「卒業後の進路」について前向きに考えている生徒が70%以上である。	A	A	A	進路意識の向上や進路実現に向け、進路指導部と学年で連携し、外部との連携を取ることでより弾力的な指導を行うことができた。	過去の進路状況と比較してみると今年度の3年生の進路実績には目を見張るものがある。生徒たちのやる気を起こさせる指導についてとても評価できる。	3年生はもちろん、1・2年生も日常生活の中で卒業後のことを考えての準備を積み重ね、成果に繋がれるように、学年、教務部、生徒指導部とも連携して進路指導にあたる。
	⑱ 生徒の卒業後の進路について一度でも話し合いをした家庭が70%以上である。	A	A	A	『進路ファイル』や『進路のてびき』を活用することで、家庭での進路の話し合いの機会も増え、内容ついて担任が把握しやすくなり、個別の支援がしやすくなっている。	社会情勢の変化は生徒の進路に大きく影響してくるので、家庭での話す機会が増える手がかかりとなるものがあるのはとても良いと思われる。	『進路ファイル』や『進路の手引き』を活用し、家庭における進路の話し合いがより活発になるように継続していきたい。	
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 「学校の様子がよく分かる」と感じている保護者が70%以上である。	A	B	A	WEBページを随時更新することで、保護者や地域への広報活動を迅速に行うことができた。	WEBページより、ビジネスコースのコラボ授業が素晴らしい。他のコースの取り組みの様子も掲載してほしい。	本校の特色や活動内容をより多く盛り込み、広く伝わるような内容のWEBページを作成していく。
		⑳ PTA関係行事への保護者の参加が40%以上である。	B	B	B	コロナ禍でPTA行事も制限されているが、可能な範囲で活動しているが、限度があるのは確かである。	コロナ禍でPTA活動に未実施のものが多々あり、不満を持たれている方がおられるように感じる。さらに、魅力ある学校作りに取り組んで欲しい。	コロナ禍の状況を見ながら保護者ができるだけ参加できるように学校行事の内容を検証していく。長期休業中や休日のボランティア活動にも保護者が参加できるように検討していく。
Ⅵ 教育のデジタル化に努めていますか。	11 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉑ ICTを活用した授業に、生徒の70%以上が満足している。	A	A	A	教員相互の授業参観や研修を行い、ICT機器の効果的に活用する授業が増えた。	授業を工夫・改善に取り組む姿勢は、生徒たちにも充分伝わっていると思い、良好である。	教員相互の授業参観や研修を通じて得た方法を取り入れ、ICT機器を効果的に活用した授業を実施する。
	12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉒ ICTを活用した通知等に、生徒・保護者の70%以上が満足している。	A	A	A	ICT機器を活用したWEBアンケートや通知等について、生徒・保護者に必要な情報を迅速かつ分かり易く発信することができた。	WEBアンケートや通知等についてICT機器を活用しているため、生徒・保護者には利用しやすく、また必要な情報も的確に発信され良好である。	ICT機器を活用したWEBアンケートや通知等について、できることから導入している。引き続き、生徒や保護者に必要な情報を適切に発信していく。